

令和5年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第3学年生徒を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国語】

- 自分の考えが伝わるように、根拠を明確にして文章を書く力が身に付いている。
- 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考える力が身に付いている。
- 意見と根拠など情報と情報との関係について理解することに課題がある。

【数学】

- 関数領域において、意味を理解し必要な情報を読み取る力が身に付いている。
- 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する力が身に付いている。
- 条件を変えた場合に、事柄が成り立たなくなった理由を読み取る力に課題が見られる。

【英語】

- リスニングにおいて、情報を正確に聞き取る力が身に付いている。
- 言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読む力が身に付いている。
- 与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語句を補ったりする力に課題が見られる。

【全教科共通】

- 無回答率が低く、最後まで粘り強く問題に取り組む姿勢が見られる。

2 生徒質問紙に関する結果の概要

- 学級やグループで話し合い、お互いの意見の良さを生かして解決方法を決める力が身に付いている。
- 地域の行事に参加し、地域をよりよくしようとする生徒の割合が多い。
- 解答時間が足りなかったという生徒の割合が多く、見通しをもって問題を解く力が必要である。

3 取組についての評価

(1) 教科に関する取組

① 効果があった取組

- ・数学科の朝プリント学習の実施
- ・授業の中において、学級やグループで自分の考えを交流する場面の設定

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・必要な情報を読み取るために、新聞コラム読みや朝読書活動の充実
- ・個の習熟度や学年の発達段階に応じた説明活動の深化・充実

(2) 生徒質問紙の内容に関する取組

① 効果があった取組

- ・学級活動、道徳において、学級やグループで自分の考えを交流する場面の設定
- ・学校と地域の連携により、地域行事へ参加の充実

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・学習生活記録ノートを活用した計画的な学習